



Cisco Unified Presence でのジョブをスケジューリングするための一括管理の使用

Cisco Unified Presence で一括トランザクションをスケジューリングして、これらのトランザクションの開始時刻を指定できます。

[一括管理 (Bulk Administration)] メニューから送信されるすべてのジョブは、Bulk Provisioning Service (BPS) のキューに入れられます。ジョブに対して指定した開始時刻により、トランザクションの実行が開始されます。開始時刻が指定されていない場合、トランザクションは受信した順序で実行されます。

- 「Bulk Provisioning Service の管理方法」 (P.31-1)
- 「Cisco Unified Presence でのジョブのスケジューリング方法」 (P.31-3)

Bulk Provisioning Service の管理方法

- 「Bulk Provisioning Service のアクティブ化」 (P.31-1)
- 「BPS の起動、停止、または再起動」 (P.31-2)
- 「BPS の非アクティブ化」 (P.31-2)

Bulk Provisioning Service のアクティブ化

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Presence Serviceability のウィンドウで [Tools] > [Service Activation] の順に選択します。
- ステップ 2** [Service] リスト ボックスから、Cisco Unified Presence が実行されているサーバを選択します。
- ステップ 3** [Database and Admin Services] エリアで、Cisco Bulk Provisioning Service に対応するチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** [Update] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

- BPS は、アクティブ化されると自動的に起動します。

- ウィンドウが更新され、Bulk Provisioning Service に対応する [アクティブ化ステータス (Activation Status)] に [アクティブ化 (Activated)] と表示されます。
- サービスがすでにアクティブ化されている場合は、[アクティブ化ステータス (Activation Status)] に [アクティブ化 (Activated)] と表示されています。
- BPS は起動するごとに、Cisco Unified Presence データベースと同期化されます。

関連項目

[「BPS の起動、停止、または再起動」\(P.31-2\)](#)

BPS の起動、停止、または再起動

BPS は、Cisco Unified Presence Serviceability でアクティブ化されると自動的に起動します。BPS を停止または再起動できます。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Presence Serviceability で [Tools] > [Control Center - Feature Services] の順に選択します。
- ステップ 2** [Servers] リスト ボックスから Cisco Unified Presence を選択します。
- ステップ 3** BPS に対応するチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** 次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
BPS を再起動する	[Restart] をクリックします。
BPS を停止する	[Stop] をクリックします。
停止した BPS を起動する	[Start] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

- Cisco Bulk Provisioning Service が [データベースおよび管理者サービス (Database and Admin Services)] エリアの [サービス名 (Service Name)] 列のリストに表示されます。
- [「Bulk Provisioning Service のアクティブ化」\(P.31-1\)](#) の手順に従って BPS をアクティブ化した場合は、ステータスの項目に [アクティブ化 (Activated)] と表示されます。

BPS の非アクティブ化

必要がなくなった場合に BPS を非アクティブ化して、このツールからログアウトできます。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Presence Serviceability で [Tools] > [Service Activation] の順に選択します。
- ステップ 2** [Servers] リスト ボックスから Cisco Unified Presence を選択します。

ステップ 3 次の操作を実行します。

- a. Cisco Bulk Provisioning Service に対応するチェックボックスをオフにします。
- b. [Update] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

Cisco Bulk Provisioning Service が [データベースおよび管理者サービス (Database and Admin Services)] エリアの [サービス名 (Service Name)] 列のリストに表示されます。

Cisco Unified Presence でのジョブのスケジューリング方法

- 「ジョブのスケジューリング」 (P.31-3)
- 「ジョブの検索」 (P.31-5)

ジョブのスケジューリング

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] の順に選択します。
- ステップ 2** 「ジョブの検索」 (P.31-5) の手順の手順に従ってスケジューリングするジョブを検索します。
- ステップ 3** 表 31-1 の説明に従って、ジョブのスケジューリングとアクティブ化の設定値を入力します。

表 31-1 ジョブの設定値

フィールド	説明
ジョブ ID (Job Id)	ジョブの送信時に作成されたジョブ ID が表示されます。
ジョブのステータス (Job Status)	次のいずれかのジョブ ステータスが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 保留 (Hold) • 処理中 (Pending) • 完了 (Completed) • 未完了 (Incomplete)
スケジュール日時 (Scheduled Date Time)	リスト ボックスから年、月、日を選択します。ジョブをスケジューリングする時刻を入力します。
送信日時 (Submit Date Time)	ジョブが送信された日時が表示されます。

表 31-1 ジョブの設定値 (続き)

フィールド	説明
順序 (Sequence)	リスト ボックスから、ジョブの実行順序を選択します。選択できる数値は 1 ~ 20 です。 (注) 複数のジョブで同じ日時がスケジューリングされている場合は、順序の数値に従ってそれらのジョブが BPS のキューに入れられます。スケジューリングされた日時と順序が同じである場合は、送信された日時に従ってジョブがキューに入れられます。
ジョブ説明 (Job Description)	ジョブの作成時に入力した説明が表示されます。
頻度 (Frequency)	次のオプションの中から、トランザクションの頻度を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 一度 (Once) • 月次 (Monthly) • 週次 (Weekly) • 日次 (Daily) • 毎時 (Hourly) たとえば、[日次 (Daily)] を選択すると、そのトランザクションは、[スケジュール日時 (Schedule Time and Date)] フィールドで入力した時刻に毎日実行されます。
ジョブの終了時刻 (Job End Time)	反復的な (頻度の高い) ジョブの終了時刻が表示されます。
最終変更者 (Last Modified By)	このジョブを最後に変更した管理者のユーザ ID が表示されます。

ステップ 4 次のいずれかの操作を実行します。

- a. スケジューリングした時刻にジョブをアクティブ化する場合は、[ジョブのアクティブ化 (Activate Job)] をクリックします。
- b. 設定を保存してジョブを後でアクティブ化する場合は [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 5 アクティブ化したジョブのジョブ ID をクリックします。

ステップ 6 [ログ ファイル名 (Log File Name)] 列のリンクをクリックして、このトランザクションのログ ファイルを表示します。

ステップ 7 ジョブのリストに戻るには、次の操作を実行します。

- a. [関連リンク (Related Links)] メニューから [検索/リストに戻る (Back to Find/List)] を選択します。
- b. [移動 (Go)] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

ジョブが保存されているが、まだアクティブ化されていない場合、そのジョブのステータスは [保留 (Hold)] と表示されます。これらのジョブは、アクティブ化されるまで BPS で処理されません。

ジョブの検索

[一括管理 (Bulk Administration)] メニューから、BPS にすでに送信されているジョブを検索できます。次を基準に検出されたジョブが一覧表示されます。

- ジョブ ID
- スケジュール日時
- 送信日時
- 順序
- 説明
- ステータス
- 最後のユーザ

手順

-
- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] の順に選択します。
- ステップ 2** ジョブ検索の最初のリスト ボックスから、次のいずれかのオプションを選択します。
- ユーザ (User)
 - ステータス (Status)
 - ジョブ ID (Job ID)
 - 説明 (Description)
 - スケジュール日時 (Scheduled Date Time)
- ステップ 3** ジョブ検索の 2 番目のリスト ボックスから、次のいずれかのオプションを選択します。
- が次の文字列で始まる (begins with)
 - が次の文字列を含む (contains)
 - が次の文字列と等しい (is exactly)
 - が次の文字列で終わる (ends with)
 - が空である (is empty)
 - が空ではない (is not empty)
- ステップ 4** 3 番目のリスト ボックスから [表示 (Show)] を選択します。
- ステップ 5** 必要に応じて、次のいずれかの操作を実行します。
- a. 適切な検索テキストを指定します。
 - b. データベースに登録されているすべてのジョブを検索する場合は、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。
 - c. クエリーをさらに定義する場合は、[AND] または [OR] を選択して複数のフィルタを追加し、ステップ 2 ~ a を繰り返します。
- ステップ 6** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 7** 処理中のジョブまたはスケジューリングやアクティブ化がまだ行われていないジョブのジョブ ID をクリックします。
-

関連項目

- 「[Web ブラウザ セッション](#)」 (P.1-7)
- 「[ジョブのスケジューリング](#)」 (P.31-3)

トラブルシューティングのヒント

- ジョブのスケジューリング時に [後で実行 (Run Later)] オプション ボタンを選択した場合は、[ステータス (Status)] に [保留 (Hold)] と表示されます。
- [今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンを選択した場合は、[ステータス (Status)] に [処理中 (Pending)] と表示されます。
- ジョブが完了している場合は、[ステータス (Status)] に [完了 (Completed)] と表示されます。また、エラーが発生したために完了できないジョブの場合は、[未完了 (Incomplete)] と表示されます。